



組合や中小企業の経営についてバックアップします。

奈良県中小企業団体中央会



一般社団法人 奈良県中小企業診断士会

組合の強みを活かした新たな取組を
“伴走支援”で徹底サポート！

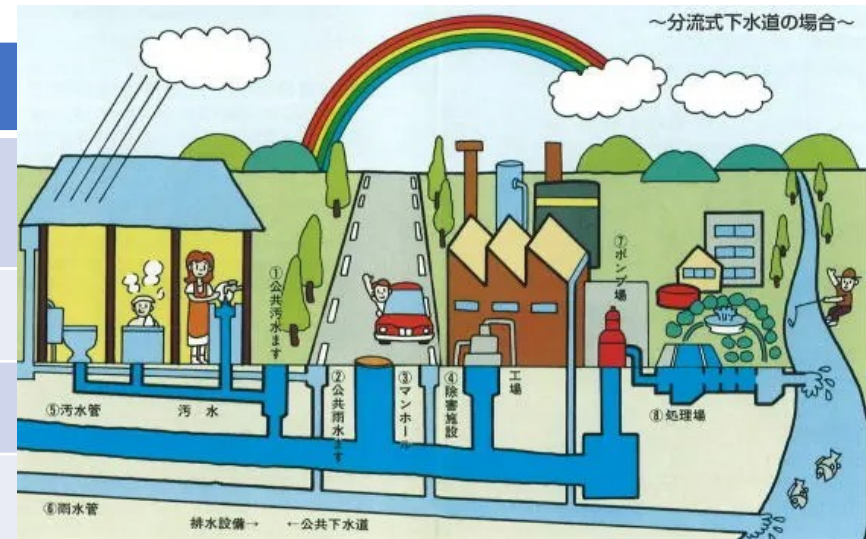
がんばる組合 経営力強化・再構築支援 プログラム2025

成果報告資料

御所市上下水道協同組合

組合概要

組合名	御所市上下水道協同組合
所在地	〒639-2306 御所市三室209番地の3
設立	1984年5月
代表者	理事長 山原 秀規
組合員数	11事業所



【組合について】

御所市内の指定給水装置工事事業者が集まった専門家集団。

■使命

市民の日常生活に欠かせない「水」という重要なライフラインを、24時間365日安定して守り続けること

■主な活動

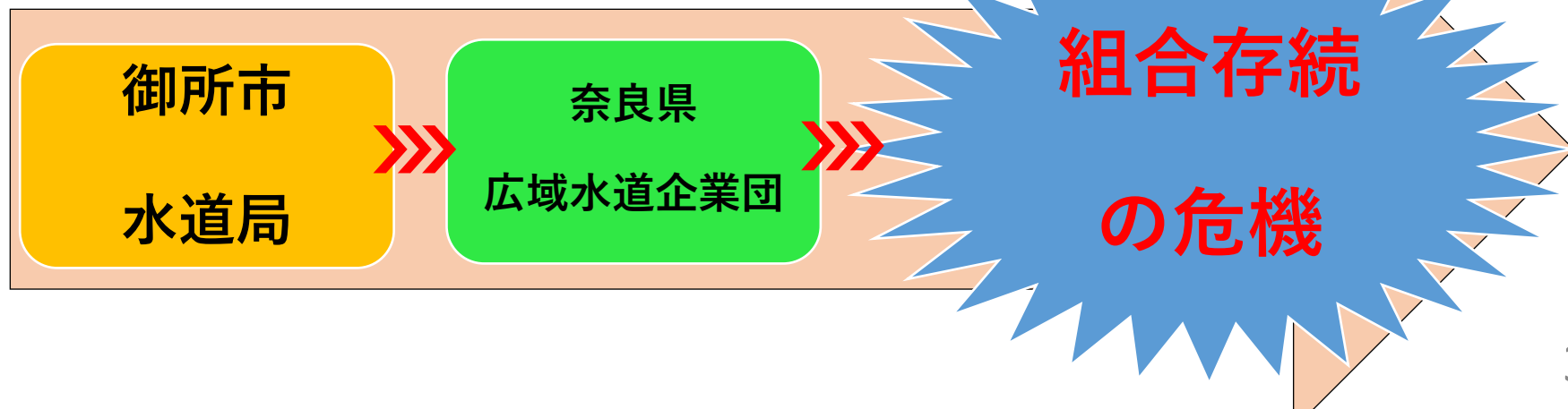
家庭内の水漏れや詰まりといった急なトラブルへの迅速な対応に加え、公共上下水道施設の適切な維持管理。
また、組合員相互の技術力向上や情報共有を図り、地域に信頼される上下水道事業の推進に努めている。



課題



契約先の変更



実施結果

地域インフラ
を守るため

組合存続のため

技術力・設備力
ギャップ解消

組合員全員が連携した「連携事業継続力強化計画」の策定

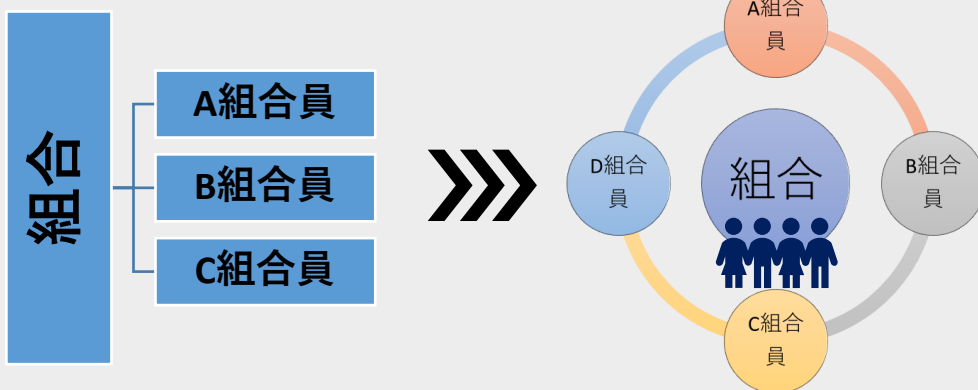
本事業を終えて…

良かった点

- 組合の存在意義の再認識
- 組合員同士の結束力の強まり
- 組合のデジタル化が進んだ

今後の目標

- ① 御所市・奈良県広域水道企業団への組合PR活動
- ② Instagramを活用しての組合PR
- ③ 県内上下水道協同組合との連携



伴走支援について（中央会）

伴走支援の成果



伴走支援によってもたらされた「変化」

- ・「組合の役割がなくなる」という危機感を「攻めの連携」へ転換
- ・組合員間の技術力・設備力の差の可視化



良かった点

- ・組合の存在意義の再定義
- ・市や企業団に対し、地域の組合こそが真のセーフティネットであるとPRする材料が整った



組合の今後に向けての想い

- ・計画を形骸化させない
- ・「対外的な発信」を組織の盾にする

全体の総括

個別支援の概要

第1回：組合が目指すゴールの認識共有、事業継続力強化計画の内容や仕組みの理解

第2回～第3回：連携事業継続力強化計画の内容検討、申請手続き

第4回～第5回：連携事業継続力強化計画の活用や関係機関へのPRについて検討

支援の進め方で注意した点

- 各組合員ができるだけ参加しやすい日程・スケジュールの設定
（組合員のスケジュールを考慮して次回日程を決定、原則的に平日の19時開始）
- 分かりやすい資料の活用による自然災害リスクの認識共有
（市が発行している「御所市総合防災マップ」を入手、配布）
- 連携事業継続力強化計画の認定を関係機関にPRするための資料作成

今後の展望

- 連携事業継続力強化計画の策定を通じて、組合員同士の団結力向上や存在意義の再認識を実現できました
- 計画の策定をきっかけとして、防災の取り組みを進めるとともに、組合の活性化に向けたPR活動等も進めて頂ければと思います

